

## 平成 24 年度 第 1 回 富田林市総合計画フォローアップ会議 会議録概要

- ◆日 時：平成 25 年 1 月 28 日（月）（13：00～16：00）
- ◆場 所：富田林市役所 5階 介護認定審査会室
- ◆出席者：大西委員、西野委員、前川委員（座長）、湯口委員、吉川委員（メールでの参加）  
事務局：和田、山下、谷口、北村

発言者	発言概要
事務局	<p>■和田市長公室付部長よりあいさつ</p> <p>■フォローアップ会議設置要綱により、会議の役割と組織の概要について説明。</p> <p>■委員紹介 大西委員、西野委員、湯口委員、前川委員、吉川委員 （吉川委員については、メールを利用して会議に参加していただく旨報告。）</p> <p>■事務局紹介 和田、山下、谷口、北村</p> <p>■座長・職務代理の選出 要綱第4条の規定により互選により座長を選出願う。 ⇒前川委員を座長に選出。 座長の指名により、職務代理に大西委員を選出。</p> <p>～座長による議事進行～</p>
座長	<p>■会議の公開について （事務局より「フォローアップ会議設置要綱」及び「会議の公開に関する指針」について説明後） ⇒「公開」とすることに決定。</p> <p>■会議の傍聴人数について （事務局より案の説明後） ⇒会議の規模を勘案し、5名程度とすることを決定。</p> <p>■議事録の取扱いについて （事務局より案の説明後） ⇒・議事録の作成は事務局で行う。 ・議事録は委員の発言内容の要約筆記としてまとめ、次の会議の冒頭で修正等を含めた内容確認を行う。 ・発言者氏名はそのまま記載するのではなく、「座長」、「委員」、「事務局」といった職名で表記する。 ・議事録は公開することとすることを決定。</p>

事務局	<p>■会議のルールについて  (事務局から案の説明後)  ⇒・1回の会議は、最大3時間とし、会議運営が円滑になるように努める。  ・発言は座長の許可を必要とする。  ・資料配布は座長の許可を必要とする。  ・事務局からの資料は、事前に配布する。  ・会議の冒頭で、前回「会議録」の確認と承認を行う。  ・評決事項は座長を除く委員の多数決による。ただし、賛否同数の場合には座長が決すること。</p> <p>■会議の開催日程と回数について  (事務局から案の説明後)  ⇒本日の第1回会議を含め、2月に2回、3月に1回の計4回の開催を予定することに決定。</p> <p>■会議の進め方について  本日の会議は、平成21年度と22年度のフォローアップ会議、23年度の基本計画検証会議の概要を確認し、その後、事務局で用意した資料を基に、平成23年から現在にかけての取組み状況の説明と意見交換を行うことになる。</p> <p>～これまでのフォローアップ等の経過について説明～</p> <p>■平成21年度フォローアップ会議について概要説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローアップ会議のあり方  (22年度以降も開催、評価の方法 など)</li> <li>・基本計画第1章(3つのしくみづくり)に関わる評価のあり方</li> <li>・基本計画第2章(7つの施策大綱)に関わる評価のあり方。</li> <li>・資料とデータの整備 など</li> </ul> <p>■平成22年度フォローアップ会議について概要説明</p> <p>“市民参加の3つのしくみづくり”を「横糸」として、個別の行政課題という「縦糸」に織り込むことの認識をさらに深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・21年度フォローアップ会議報告書に対する取組み状況を評価。  ⇒・行政評価シート・フォローアップシートの活用の全庁的促進。  ・発想の転換に努める職員の評価・育成と、発想の転換を良しとする職場風土の醸成。</li> <li>・総合計画の進捗状況の評価(事務事業評価の成果指標設定)  ⇒・行政評価の成果指標設定のあり方についての提言</li> <li>・策定後5年を目途とした基本計画の“見直し”に対する提案 など</li> </ul>
-----	--

<p>座長</p>	<p>■平成23年度の基本計画検証会議について概要説明</p> <p>策定後5年を迎える、第4次総合計画の着実な推進を図ることを目的に、時代潮流等の社会環境の変化や基本計画の進捗状況を踏まえ、基本計画の検証及び見直しを行うために基本計画検証会議を開催。</p> <p>【検証結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時代潮流の変化など、さまざまな要因の変化は見られたものの、基本計画の方向性について大きな逸脱はなく、3つの市民参加のしくみづくりや、7つの施策大綱にも方向性の誤りは見られない。</li> <li>・実施計画の策定、評価・進捗管理については、提案に沿った取り組みを進めること。</li> </ul> <p>21年度はデータ整理・フォローアップの工程。 22年度は職員の意識への浸透・行政評価の視点・検証会議への提言。 23年度は縦系のチェック不足を指摘。</p> <p>次期総合計画への提案としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの蓄積データを活用されたいこと。</li> <li>・フォローアップ会議や検証会議の位置づけ・権限を明確にすること。</li> <li>・計画と予算とを、兼ね備えた実効性のある計画とすること。</li> </ul> <p>このような流れのうえに今回のフォローアップがあるものとして、進めていきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>～資料説明～</p> <p>■フォローアップシート①（資料1）について説明</p> <p>各事業の実施段階における3つの「市民参加のしくみづくり」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① “さまざまな立場の市民が行政活動に参加できるしくみづくり”</li> <li>② “行政職員の市民意識の理解を促すしくみづくり”</li> <li>③ “市民と行政の協働を推進するしくみづくり”</li> </ol> <p>の年度別の取組み状況をまとめた表で、前回の平成22年度に作成・報告した内容に、平成23年度と平成24年度の途中までの取組みを追加。</p> <p>（平成23年度の取組み例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2節 分類番号24番『職員自主研究グループとNPO団体との勉強会』の開催</li> <li>・第3節 分類番号29番『自主防災組織』</li> </ul> <p>（平成24年度の取組み例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3節 分類番号29番と31番『元気なまちづくりモデル事業補助金制度』などを例示。</li> </ul>
<p>座長</p>	<p>取組み例のように着実に進んでいることがある一方で、「公募市民委員参加の会議数（1ページ17番）」はあまり変わっていない。</p>

事務局	<p>公募市民枠があっても、23年度中に開催されていない会議はカウントされていない場合もある。</p>
座長	<p>これは「市民の行政への参加」のわかりやすい指標になるかと思うが、市民参加を謳った総合計画が出来て6年目で、公募市民の会議への参加数が成果として表れないのは、議論していかないといけないかもしれない。</p> <p>「職員のNPO法人への実地研修派遣（2ページ21番）」には派遣人数を記載してもらいたい。</p>
事務局	<p>■フォローアップシート②（資料2）について説明  “縦系”である施策ごとの個別事業の実施状況と、各事業に関連する「3つのしくみづくり」の状況を○×で表して取りまとめたシート。</p>
座長	<p>これから市民にわかりやすく公開していくうえで、「○×」がなにを指すのか等、表の見方の説明を入れることが必要である。</p> <p>また、○×評価できないものもあると思うが、全事業が記載され、最終的にその年度の決算合計額と合うという形に整理するのが望ましい。</p> <p>この資料は、市民が予算決算で、この施策のこの事業に、どのくらいお金かけて進めているのかがわかる資料になっている。</p> <p>「3つのしくみづくり」の「○×」が記載されることで、市の努力が足りないのか、出来ないことであるのかがわかってくる。</p> <p>提案に含めたらいいことではあるが、市が事業を実施する際には、農業関係であれば、農業にかかわっている市民などの専門性を持っている人が、少し意見を言えるようなことができればいいのではないだろうか。</p>
委員	<p>それは難しいのでは？</p>
座長	<p>難しいですか？だから「×」ばかりになるのでは？  次期総計にはそういうことが盛り込めればと思う。</p> <p>例えば、「就労支援事業」は、企業や業者の協力を得て事業を行っているはずだが、この表では「×」となっている。</p> <p>これ以外にも「×」としていても、実はもうすでに市民や関係者と協力して行っていることもあると思う。</p> <p>既に地域とのいろんな関わりを持っているはずなので、視点を広げて、それをもっと見える形にしていけばいいのではないか。</p>

委員	ゴミの出し方ひとつとっても、市民や町会と、市は関わりがある。
座長	今は担当課による自己評価だが、もう少し先になると「3つのしくみづくり」について、「市民から見てどうなのか」という視点も必要になってくるかもしれない。
事務局	<p>■各種数値データ一覧表（資料3）について説明</p> <p>施策別に、関連する個別項目について、人数や回数、パーセンテージなどの指数を用いて、その推移を統計として整理。</p> <p>⇒数値の増減によって一概に良し悪しを判断できるものではないが、数値の把握・確認は、総合計画の進捗管理においては大切な視点であり、毎年、データの積み上げを継続している。</p>
座長	<p>2ページに耐震補強工事事業達成率（小学校）が載っているが、その他の施設の耐震関係が載っていない。せっかく進めている施策がこういうデータに載ってこないのはもったいない。</p> <p>9ページの橋梁耐震数、そのなかで出来ている・出来ていないは表現しておいたほうがわかりやすい。</p> <p>10ページの駅の並びの順番がおかしい。</p> <p>11ページの駅前の賑わい再生はデータがあるのかないのかがわかりにくい。</p> <p>農地の数値訂正は、備考欄ではなく訂正しておいたほうがいい。</p> <p>商工会のデータは富田林市だけなのか太子・河南町等を含んだ数なのか、備考欄に書いてほうがわかりやすい。</p> <p>市はこういったデータを整理しておらず答えられないことが多い。そこが弱い。</p>
委員	（ ）書きや備考欄でそういったことを書いておいてもらえば、初めて見た者でもわかりやすい。
座長	我々が見て、わからないことをここで事務局に聞いて、データを市民にわかりやすく整理していくことも、フォローアップ会議のひとつの成果であると思う。
事務局	<p>■平成23年度市民アンケート（満足度・重要度）（資料4）について説明</p> <p>平成23年度に実施した「市民アンケート」の各項目を、満足度と重要度の面から整理。</p> <p>■市民アンケート調査結果ランキング（資料5）について説明</p> <p>平成17年度から23年度までの市民アンケートの満足度・重要度の上位5項目の経年変化を整理。</p> <p>【満足度】</p> <p>ここ数年大きな変化はないが、最近では、「防犯・防災・消防等危機的管理の安心度」や「環境への配慮」といった項目も満足度の上位に入ってきている。</p> <p>【重要度】</p>

	<p>順位の入替わりはあっても、大きく変わっていない。</p>
委員	<p>アンケート調査の前提条件（アンケートサンプル数、男女比、無作為抽出等）を記載しておいてほしい。</p>
座長	<p>アンケート調査の難しさは、今までのフォローアップ会議でも話し合ってきているが、今回のアンケートでは「わからない」と答えている人が「満足度」でも「重要度」でも1/4近くいる。</p> <p>こういうのはアンケート調査の統計としてどのようにとらえるのか？ これは市政への関心の薄さの現れだろうか？</p>
委員	<p>富田林市の都市部と農村部では、同じアンケートをしても、何を満足・重要と思うかは違ってくるのではないだろうか。</p>
事務局	<p>アンケート結果を校区別に分けることは可能なはずである。</p>
座長	<p>40%の人は満足しているといいながらも、もう少し細かく見ていくこともいいかもしれない。</p>
委員	<p>多様な市民の声をどこまでどういうふうに、市政に生かしていくのかが、難しいところであるが、大切であると思う。</p>
委員	<p>石川大清掃の甲斐もあって、石川のゴミは少なくなっているが、川の水量が少ない。コンクリートで固められた部分が増え、山の木も少なくなった。</p>
座長	<p>現場を見て出てくる、そういう市民の声を直接どうするではなく、ひとつの大きな施策に反映させることが大事であると思う。</p>
事務局	<p>■平成23年度事務事業評価集計表（資料6）について説明</p> <p>行政評価シートの中で設定している成果指標について、その予定と実績から進捗状況を確認する資料。</p> <p>⇒「成果指標」についての理解促進のため、「成果指標設定マニュアル」を作成。</p>
座長	<p>「成果指標設定マニュアル」を次回資料提供願いたい。</p> <p>全事業は無理かと思うが、よりいいものにしていくという視点で、2年前の会議で見せてもらった21年度の事業の行政評価を、23年度のものと比較したりするのはどうか。</p> <p>成果指標についての考え方がどのように変わったか見えてくると思う。</p>
事務局	<p>対比するような形で、次回資料提供すればよいか？</p>

座長	シートそのものでよい。前回はシートそのものを提供してもらった。
事務局	<p>■平成23年度 事務事業の施策別分類（資料7）について説明          全体の事務事業と、そのうちの行政評価対象事業、行政評価実施事業等の情報について整理した資料。</p> <p>【平成23年度】          評価対象外を含めた全事業⇒881 事業          評価対象事業⇒598 事業          評価シート作成事業⇒278 事業</p> <p>（特に意見なし）</p>
事務局	<p>■前回報告書についての進捗状況（資料8）について説明          平成 22 年度の報告書において提案・提言された内容について、取組み状況を点検・報告する資料。</p> <p>～各項目について読み上げる～          総合計画実現に向けた課題に対する提案</p> <p>●行政評価シート・フォローアップシートの活用の全庁的促進          【進捗状況】          ⇒「しくみづくり」における課題として提案いただいた、事務事業評価シートへの“3つのしくみづくり”と事業との関連性の具体的記述の徹底については、「行政評価シート入カマニュアル」の中で、具体例を追加掲載し、まず、“3つのいずれに該当するか”について記載するよう職員に周知を行いました。今後も、事務事業評価シートとフォローアップシートの整合を含めた関係資料の整備に努めるとともに、その有効活用を図ります。</p> <p>●発想の転換に努める職員の評価・育成と、発想の転換を良しとする職場風土の醸成          【進捗状況】          ⇒事務事業評価や実施計画における、“事務事業と施策の結び付け”、“成果指標設定”、“3つのしくみづくりとの関連性の記載”など、さまざまな機会を通じて、職員に“発想の転換”について意識付けを行うことで、職員の意識も向上してきています。          今後も、第4次総合計画の実現に向けた職場風土の醸成と効果的な取り組みの推進に努めます。</p> <p>事務事業評価の成果指標設定のあり方についての提言</p> <p>●①成果指標設定の前に、まず、何のための事業なのか目的意識を明確にする。          ②成果指標設定の際には、定量的設定にあまりこだわり過ぎない。</p>

	<p>(成果指標の設定こそが行政評価成功のカギであるが、設定自体が目的ではなく、あくまでも、設定作業を通じて、その事業の目標を考えることにある。)</p> <p>③成果指標の表現に際しては、総合計画や各種の計画・指針などの基本資料に立ち戻ってみる。</p> <p>④成果指標設定不可または設定不適切と判断した場合には、その理由を明記する。</p> <p>⑤基本計画の第 1 章の理念を浸透させ、理念を生かす方策を考える機運を醸成するため、政策推進課が、成果指標の設定に積極的に関与する。</p> <p>【進捗状況】</p> <p>⇒フォローアップ会議での提言を受け、職員が、事務事業評価を実施するにあたり、適切に成果指標を設定し、事務事業評価の取組効果を確保できるよう、政策推進課において「成果指標を設定する理由(意義)」、「指標設定の際の考え方」、「設定の手法」の各項目について、わかりやすく解説した『成果指標設定マニュアル』を作成し、職員に周知し意識付けを行いました。</p>
座長	職員の意識改革は進んでいると、事務局は思うか？
事務局	繰り返し発信することで、少しずつだが、進んでいると感じている。
座長	担当課には、総合計画の考え方が伝わりにくく、政策推進課にもっと強い権限が必要であるという議論になったこともあると思うが。
事務局	「しくみづくり」はどこかからの押し付けではなく、それぞれの担当課が、自己の業務の中で考えるようにならないと進まないと考えている。
座長	<p>この会議に膨大な資料を整理して提供していただいていることも、繰り返しのひとつだと思う。</p> <p>「しくみづくり」を「〇×」で自己評価することも、担当それぞれの目に見える形になっていいのかもしれない。</p> <p>そういった進捗状況の確認のためにも、次回「成果指標設定マニュアル」と「行政評価シート」の点検を行いたい。</p>
事務局	<p>■「市政への市民参加について」のアンケート結果(資料9)について説明</p> <p>平成23年度に実施した、「市制への市民参加について」のアンケート調査結果。</p> <p>⇒参加したいと思っているが、実際には参加することができない人が多いことが伺える。</p>
委員	これは毎年行っても結果に大きな変動が現われるアンケートではないと思われるので単年度の実施でよい。

委員	<p>回答者に「無職」が多いのはなぜだろうか。高齢者ばかりにアンケートしているわけでもないだろうに。</p>
座長	<p>そういった疑問に答える手段として、(資料4)と同じく、これからアンケート結果を資料として提供してもらうときは、アンケートの前提条件を明記しておいてほしい。</p> <p>2年前の会議でも、アンケートの信憑性について議論があったように、アンケート調査は分析が非常に難しく、いつも議論になるが、このアンケートは、市民の市民参加への意見であるので、市民参加を考えるうえで貴重であると思う。</p> <p>「参加したい人」が50%以上もいて、でも、実際に参加するにあたっては「日程が合わない」「情報提供不足」等の批判的な意見が多い。</p> <p>このアンケート結果に答えられるようにがんばってほしい。</p> <p>～以下の資料については、資料提供のみ～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■第4次総合計画第5期実施計画(資料10)</li> <li>■平成21年度フォローアップ会議報告書(資料11)</li> <li>■平成22年度フォローアップ会議報告書(資料12)</li> <li>■基本計画検証会議報告書(資料13)</li> </ul> <p>◆その他 (吉川委員の意見について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉川委員には会議の都度議事録(案)を報告し、メールでコメントをいただく。</li> <li>・コメントに対する議論は、次回の会議で行う。</li> <li>・メールそのものについては公開資料とはしない。</li> </ul>